

公表日

2024年 10 月 5 日

事業所名

こぼんはうすさくら 川崎大島教室

保護者等数(児童数) 27名

回収数 27件(割合100%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	2	0	0	・十分なスペースだと思う。	・今後も面談時や見学の際に実際の療育現場を見て頂けるようにする。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1	0	3	・職員の人数がわからない。	・職員名簿を掲示し保護者様にも分かりやすい説明をしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	3	0	2	・ご意見なし。	・保護者様が来所される際に実際に生活空間や導線を見て頂く。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	0	0	0	・足の裏が汚れていないのでキレイと感じている。	・今後も満足頂けるように支援していく。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	0	0	0	・ご意見なし。	・今後も満足頂けるように支援していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	2	0	0	・支援プログラムのおかげで苦手なことができるようになった。	・今後も満足頂けるように支援していく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1	0	0	・分かりやすく作成されていると思う。	・今後も満足頂けるように支援していく。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	0	0	1	・ご意見なし。	・今後も満足して頂けるように支援していく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	1	・ご意見なし。	・連絡帳や送迎時などで支援内容を保護者様に詳しく共有していく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2	0	1	・毎日楽しそうなプログラムで工夫されていると思う。	・今後も満足して頂けるように支援していく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	5	5	・幼稚園に通っているので十分です。	・今後、遊びや行事を通して、交流できる機会を検討していく。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0	・ご意見なし。	・今後も満足して頂けるように支援していく。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0	・わかりやすく説明がされている。	・今後も満足して頂けるように支援していく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	4	2	4	・ご意見なし。	・今後の検討課題としていく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	2	0	0	・連絡帳や送迎時で伝えてくれている。	・今後も満足して頂けるように支援していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	2	0	0	・急な面談も対応してくれるので助かっている。	・定期的な面談に加えて、電話やLINEなどでも支援を継続していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1	0	0	・「こんなことができるようになった」と笑顔で報告があり子どもの成長を喜んでくれ嬉しく思う。	・今後も満足して頂けるように支援していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	13	5	4	5	・大変だと思うが年に1~2回イベントがあると嬉しい。	・今後の検討課題としていく。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1	0	1	・何かあれば対応して下さるので助かっている。 ・利用日の変更に柔軟に対応して頂き助かっている。	・今後も満足して頂けるように支援していく。
保護 者	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1	0	1	・送迎時などで確認できていると思う。	・今後も満足して頂けるように支援していく。

自 己 へ の 説 明 等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	0	2	・様子を知ることができ助かっている。	・今後もInstagramや新聞で発信していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると認めますか。	27	0	0	0	・ご意見なし。	・今後も満足して頂けるように支援していく。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1	0	2	・ご意見なし。	・訓練などの様子についてはInstagramや新聞でも発信していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	3	0	3	・台風接近時の対応など、子どもの安全を考えてくれていると感じ理解できる。	・訓練などの様子についてはInstagramや新聞でも発信していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	25	1	0	1	・ご意見なし。	・今後も満足して頂けるように支援していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	25	1	0	1	・少しの怪我でも状況など説明してくれるので安心できる。	・怪我の大きさに関係なく迅速な連絡と説明を行っていく。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1	0	0	・その日の活動やその日にいた先生の名前を帰ってきてから楽しそうに話してくれる。	・安心感を持って通所して頂けるように努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	3	0	0	・毎日行くのを楽しみにしている。	・個別支援の充実に合わせて楽しみのある療育の場を工夫していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	0	0	0	・通い始めてから本当に成長を感じる。これからもよろしくお願ひいたします。	・日々、子どもの適切な支援を心がけていく。今後も満足して頂けるように支援していく。

公表日

2024 年 10月 5 日

事業所名

こぼんはうすくら 川崎大島教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・スペースが広いいため、運動プログラムも行いやすい。	・パーテーションなどで仕切りを設けるなど何をする空間なのかを児童に対して明確に示していきたい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・その日の利用者の実態に応じて工夫している。	・適切でない時がある。適切な配置がされるよう努力していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・絵カード等で分かりやすく示されている。	・来所児童に応じて必要性を検討していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日、掃除をしている。	・生活空間の清掃維持の確認をする時間を作り、それに応じた対応をしていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・状況に応じてクールダウンや個別の部屋を使用することができる。	・今後も継続して行っていく。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・ミーティングを1日に3回行い、何かあれば申し送りしている全体ミーティングも月に行っている。	・今後も継続して行っていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者向け評価アンケート調査を行い結果を公表すると共に職員間でも共有し業務改善につなげている。	・今後も継続して行っていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・日々のミーティングや振り返りで意見を出し合うようにしている。	・今後も継続して行っていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・未実施。	・今後の検討課題としていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・新人研修やスキルアップの研修を実施している。	・教室内で、各専門分野に関する研修などを定期的に開催できるよう努め、職員間で共有し意識を高めていく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・プログラムは5領域項目をバランスよく提供できるよう考慮し作成している ・毎月のプログラムを配付している。	・今後も継続して行っていく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	・個人面談や日々の様子など、保護者とコミュニケーションをとり、共有しながら支援計画の作成にあたっている。	・運動面や言語面に関して、評価用紙を別紙で作れるよう検討していく。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・職員全体でカンファレンスを行い、日々の様子や課題を共有した上で作成されている。	・全職員共有できるように今後も継続して行っていく。
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・カンファレンスを行い、情報共有している。個別にスタンプカードがあり、スモールステップを取り入れている。	・今後も継続して行っていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・アセスメントを実施している。	・今後も継続して行っていく。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・モニタリングを行いながら、それぞれの項目について個別支援計画を立案している。 ・個別支援計画の中に記載されている。	・今後も継続して行っていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・毎月のプログラム内容について、ミーティングなどで職員間で意見交換しながら決定している。	・プログラム内容の詳細は各担当者が中心となっているため、担当者以外も情報共有をしっかりとっていく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・季節の行事や様々な場所へのおでかけを毎月設定している。	・職員同士でプログラムについての意見交換を今後も継続して行っていく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・個別活動、集団活動のバランスに配慮しながら支援を実施している。	・今後も継続して行っていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝礼、昼礼、夕礼を毎日行い、情報を必ず共有している。	・現場での役割分担をボードで示し視覚的な共有を今後も継続して行っていく。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・朝礼、昼礼、夕礼にて支援終了後の申し送りをし情報を共有、更にBandやLINE等での共有や記録を行っている。	・今後も継続して行っていく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・連絡帳や日報等で正確に記録を残すように心がけている。	・職員間で密に情報共有をしていき今後も継続して行っていく。

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・カンファレンスを通してモニタリングを職員間で話し合い、計画の見直しをしている。	・今後も継続して行っていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	・出席依頼があるときには積極的に参加している。	・実施時には参加していない職員にも情報共有を行っている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・保護者様より医師の指示をごちからに伝えてもらっている。なにかあれば、指定の病院に運んでもらうようにしている。	・今後も継続して行っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・保護者様から要望があった場合は通園機関の訪問を行っている。 ・保護者の承諾を得たうえで、個別支援計画を共有し、支援内容の確認している。	・今後も継続して行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	・連絡があればその都度対応している。	・保護者様とも連携して各学校との情報共有が出来るように検討していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	・地域療育センターとの連携を図り、お子様の支援に対する助言をいただける関係にある。また情報共有もしている。	・今後も継続して行っていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	・未実施。	・機会を設けられるように検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・連絡帳や送迎時の対応にて、その日の活動の様子などを情報共有している。	・情報共有が適切に行われているか、職員間で振り返る機会も設けていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・必要なお子様には保護者様に伝えていく。	・必要性に応じて支援できる体制を整えていく。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・見学や契約の際に管理者より適切に説明を行っている。	・今後も継続して行っていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・面談、アセスメントを行うことで保護者様のニーズを把握するようにつとめている。	・今後も継続して行っていく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・必ず個別支援計画を説明し、保護者様から同意を得ている。また、修正が必要な場合は速やかに対処している。	・今後も継続して行っていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・連絡帳、送迎時、電話やLINEなどで都度対応している。 ・面談時にも実施している。	・今後も継続して行っていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	・夏祭りの行事で親子で参加する機会を設けた。	・必要に応じて今後も検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・面談の実施や、電話、LINE等で対応している。	・保護者様から相談を受けた職員は適切に管理者に報告、全体で情報共有できるように対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月新聞を発信。 ・定期的にInstagramへの投稿で活動内容の発信を実施している。	・今後も継続して行っていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・新聞の発行やSNSへの投稿に際しては必ずダブルチェックを実施している。	・今後も継続して行っていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・絵カードなど視覚情報を用いて情報伝達の為の配慮をしている。ひとりひとりに合った言葉がけをしている。	・今後も継続して行っていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	・未実施	・機会を設けられるように検討していく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・各担当中心にミーティングなどで実施している。	・今後も継続して行っていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・プログラムにて毎月災害時の避難訓練を実施している。おでかけプログラムでは防災センターに行き体験を実施。	・プログラムでの避難訓練に加えて、消防局主催のイベントも近場で行われているため可能な限り参加していきたい。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時に保護者様と確認しミーティング等で職員間の共有を行っている。	・今後も継続して行っていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・アレルギーについて、有無を保護者様に確認し、すぐ分かるようにボードを作り表示している。	・職員間で密に情報共有をしていき今後も継続して行っていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・年間の安全計画を作成し、掲示している。月末には安全確認（点検）を実施している。	・今後も継続して行っていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・緊急連絡先を確認し、なにかあればすぐに連絡がとれるようにしている。	・今後も継続して行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハット事例があった際には、朝礼、昼礼、夕礼で共有すると共に記録に残している。	・今後も継続して行っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・定期的に研修を実施している。	・今後も継続して行っていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	・身体拘束は行っていない。	・クールダウンの部屋を活用しながら、落ち着ける環境を整えていく。